

危機克服し自然保護

田部井淳子審査委員長「継承の思い伝わる」

「これからの地域の環境を守るために力を尽くしてほしい。復興に向けて歩む中で、みんゆう環境を再開できるとは、とても意義がある。本報の環境保護活動が、一層充実し、多くの人たちが活躍するのを楽しみにしている」と、審査委員長田部井淳子氏は、受賞者へのコメントを述べた。



審査委員長田部井淳子氏は、受賞者へのコメントを述べた。この賞は東日本大震災による中断を再開された。

みんゆう環境賞

東日本大震災による中断を挟んで3年ぶりに再開したみんゆう環境賞では、環境保護の功績を認め、活動を続ける団体や、原発事故の影響の中で地域のかけがえのない自然環境を、見つめ直している人たちにスポットが当たった。受賞団体の活動と計画を紹介する。「(面)本記」



受賞者らと審査委員長田部井淳子氏(左)ら。写真:阿部徳子

●「島民友新聞社は」ふるさととの美しい自然環境を未来へつなぐため、県内で環境保全に取り組む団体などを表彰・支援しています。平成25年度は当会もこの「みんゆう環境賞」を受賞しました。小さいながらも活動を続けていたこと、貴重な自然遺産を見つめ後世に残したい、という思いが届いたと嬉しく思います。(事務局)

(この賞は東日本大震災による中断をはさんで3年ぶりに再開されました。)

2014年3月31日発行

南会津町の湿原を守る会だより 第8号

●平成25年5月に完成した「駒止湿原散策ガイド改訂版」植物が属する科と漢字等が追加され、更に見やすく活用に役立つブックとなりました。編集に協力した会員の力は偉大です!

●夏は、昨年引き続き湿原周囲ブナ植栽エリア内の草刈を行い、乾燥を防ぐためブナの周りに敷きました。小さいブナはある程度大きくなるまで世話をすれば草刈りなど、手を加えなくても大きくなっていくそうです。10年程前に植樹した木の多くが育っていたのも確認できました。

●9月末には、このエリア内でブナ捕植を行いました。近くの大きなブナの下から苗を採取し、およそ百本の捕植する事が出来ました。大きくなるのは何十本のうち一本とも言われています。育たなかった木を確認しながら今後も続けていきたい取組です。



平成25年5月完成、改訂版 漢字や、科が追加された



田島写真クラブさん 草刈りや補植に協力 南会津の自然を撮り続けています。2年続けて南会津の写真ガイドブックの企画・制作も行っています。



7月草刈り頃湿原は黄色↑ 9月末 補植

白河の関地域保全隊
【活動実績】白河の関白河川沿いの環境保全を目的に2004(平成16)年発足。「ホタルの里づくり」をテーマに、同施設周辺の草刈りや、定期的な勉強会や観察会、研修会、会員の資質向上に努めている。毎年、6月中旬から7月下旬まで観察会を開催する。地元住民を巻き込んだ活動を展開、地域を導いたホタルの保護活動を推進している。

ホテル保護活動を推進
【活動実績】毎年恒例の「白河の関ホタルまつり」を6月に開催し、遊休地を活用した古代ハスの栽培も計画している。

ブナ補植や登山者啓発
【活動実績】ブナの補植や登山者への啓発、小学校での環境学習支援などを行っている。木道整備には協賛金や会費を費用を捻出し、補植に当っている。

エネルギーの自給促す
【活動実績】自然エネルギーの普及啓発や研究について語る会を開催。町民6人で昨年5月に設立。「エネルギーの自給」を促す。【活動計画】太陽光発電システム設置と自然エネルギー利用の普及を図る。太陽光パネルの電力を照明や電飾に使用し、地域住民に環境対策への関心を高める。自然エネルギーに関する映画やシンポジウム、体験教室なども開催。

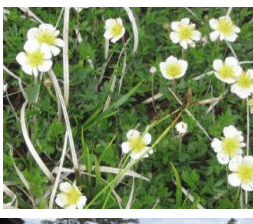
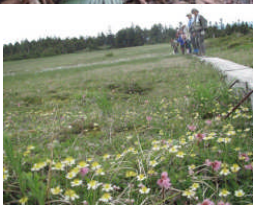
食害生物や川ごみ除去
【活動実績】松川浦の環境回復へ食害生物や川ごみ除去に取り組む。【活動計画】食害生物の駆除や、川ごみの回収などに取り組む。また、松川浦の環境回復のため、食害生物の駆除や、川ごみの回収などに取り組む。

南会津町の湿原を守る会
【活動実績】南会津町の湿原を守る会が発足。環境学習や小学校での環境学習支援などを行っている。

登山者への啓発
【活動実績】登山者への啓発、小学校での環境学習支援などを行っている。



宮床湿原散策(事務局参加) 6月、ひめさゆりウオークに参加。南郷スキー場斜面には、ひめさゆりが植えられ満開。頂上から地域を見下ろす眺めも最高。ウオーク最後のコースが宮床湿原。水たまりを良く見ると、居ました! 「ハッチョウトンボ」。かわいい小さな貴重なトンボです。



ありがとうございます



5月、ふるさと南会津会役員さんよりご寄付頂きました。「ふるさとの自然遺産を守って下さい」飯和会長さんより

8月5日「友信会」さんから、「今後の活動に役立てて下さい」とご寄付を頂きました。ありがとうございます。(会津信用金庫を利用する事業者の皆さんで作る会です)

平成26年3月発行
事務局 阿部徳子

オサバ草、チングルマに歓声
6月17日に実施した研修・散策では帝釈山から田代山を歩きました。散策には15人が参加。檜枝岐村から車で約15kmの林道を走ると馬坂峠の登山口に到着。山道を左右に折れながら登ります。オサバ草の大群落が登山道周辺に見られ、楽しみながら登山。木道や木階段が整備されているため、歩きやすい登山道でした。約60分程度で帝釈山山頂到着。頂上から田代山頂をめざし尾根を下ったり登ったり。田代山ではチングルマの群生に出会い感激。何度か登っている田代山。季節ごとに咲く花が違うことは勿論、群生の規模も変わり私たちが楽しませてくれました。



出前講座

26年度の活動「ブナ補植」に向けて現地調査を行いました。宇都宮大学農学部谷本丈夫名誉教授の指導の下、エリア内を調査。教育委員会担当者、当会役員が参加しました。植樹可能な場所や、このまま見守る場所などを調査、専門家の意見を聞きました。今後の活動に役立ちます。

木道補修

駒止湿原保護協議会が実施した木道補修に協。湿原内で破損・腐食した部分に「すのこ」を敷きました。安全に散策出来ます。(木道の補修には2009年から協力しています。)

